

赤あざ（血管腫）の治療について



形成外科では、開院以来、赤あざ（血管腫）のレーザー治療を実施してきましたが、2017年8月、新たに皮膚良性血管病変治療用レーザー装置Vbeam IIを導入しました。この装置は、2016年12月に発売され、兵庫県内では初の導入となります。

従来のものに比べて、より深層の血管や口径が太い血管にも有効で、照射口径も広いため治療時間が短縮できます。また、優れた皮膚冷却機能で表皮を保護するとともに、副作用も最小限に抑えることができます。

実際にこの装置で治療した患者さんからは、従来のレーザー治療では改善効果が乏しかった症例にも改善が見られ、治療後の痛みなども少ないとの声をいただいています。

一般的に赤あざと呼ばれる毛細血管奇形（単純性血管腫）や乳児血管腫（莓状血管腫）、毛細血管拡張症のレーザー治療は保険診療の適用となります。お悩みの方はご予約ください。